

# アメリカ 多様性と違いの尊重



6月27日(木)置塩小学校で国際理解出前講座を実施し、小学3・4年生の35名が参加しました。

講師は、インディアナ州の大学院での留学経験がある黒川衣代さんです。

これまで高等学校や大学で教鞭をふるってきた黒川さんですが、小学生対象に教えることは初めてとのことでした。講座は子どもたちが分かりやすいよう、「大きさ」を知ってもらう内容から始まりました。アメリカの面積や人口、子どもたちの身長体重、牛乳ボトル、クッキーなどをパワーポイントで紹介しました。また、アメリカと日本で売られている実物のマフィンを見せると、子どもたちは大きさの違いに驚いていました。

次に、アメリカの多様性では、人種が多いために免許証に髪や目の色が記されていることや、建造物やスイーツなどはカラフルであることなど例を挙げて、多様性について説明が行われました。また、多様性は互いを尊重することであり、自分で考え選択することが必要だと説明されました。学校の昼食はビュッフェスタイルが一般的で、スターバックスのように好きなようにカスタマイズすることや、教室では自分の席が決まっていないので毎日座る席を選ぶことなどアメリカでの日常を知ることができました。

講座終了後、アメリカではどんな野菜を食べるのか、普段の移動はどうしているのかなど、子どもたちから時間いっぱい質問が投げかけられました。

異文化に触れたことで世界に興味を持ち、英語にも興味を持つことを期待します。

